



# やまなみ

山形市立大曾根小学校  
学校だより  
令和3年12月22日  
校長  
No. 13 太田 千春

## 「仲間」を合言葉に 2学期が終了

12月22日(水)、令和3年度2学期の終業式を行いました。今学期は、「仲間」を合言葉にして取り組んだ86日間でした。運動会や学習発表会、学校創立120周年記念式などの学校行事をとおして、クラスの友達と、そして、全校のみんなと共通の「目標」をもち、その達成に向けてお互いを認め合い



ながらいっしょの時間を過ごすことで、よき「仲間」に近づくことができたように思います。児童代表で2学期にがんばったことを発表してくれた1年の児童は、詩の暗唱と苦手なナスを克服したことの二つをあげ、これからも苦手なことにもあきらめないでチャレンジしていきたいという思いを話してくれました。ひまわりナインの「仲間」といっしょだからこそ頑張れたのでしょ。

明日から、15日間の年末年始休業に入ります。子供たちにとっても、有意義な休みになることを願っております。地域、保護者の皆様には、この2学期間、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、本当にありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。

## ビックリ座 パネルシアター 御協力ありがとうございました ～いじめに関する保護者アンケート～

今年もビックリ座の皆様によりパネルシアターを上演していただきました。演目は「大工と鬼六」(11月17日:下学年)と「アラジン」(12月1日:上学年)の2つです。入学から6年間、ずっとパネルシアターを楽しませていただいた6年生からは、物語の感想とともに、ビックリ座の皆様への感謝の気持ちも述べられていました。



11月、全校児童及び保護者を対象に、今年度2回目となるいじめに関するアンケート調査を行いました。記載内容について、担任が丁寧に話を聞いて事実確認を行った結果、新たに「いじめ」として認知した行為はありませんでした。

本校では、今年度の経営の重点の一つに「いのちの教育」の推進を掲げています。学校として育成を目指している「互いのよさを認め合い、自他を大切にしようとする」態度が育ちつつあることが感じられます。今後も、一人一人の生活の様子や変化等についての丁寧な把握、適切な指導を心がけてまいります。御家庭や地域でのお子さんの様子で何かお気づきのことがございましたら、いつでも学校に連絡をくださるようお願いいたします。

# 子供たちの健やかな学びの保障のために・・・

今、求められる確かな学力を子供たちに育成するため、授業研究会をとおして学校の教員も学び続けています。子供の学びをもとに指導の在り方を改善し、日々の授業に反映させる営みを紹介します。

## ～ 第6学年 安藤学級 ～

国語科の学習において、日本文化に対する自分の考えを明らかにし、そう考えた根拠や理由を明らかにしてパンフレットを書き、紹介する活動に取り組みました。和菓子を選んだ子供は、その見た目だけでなく、味や香り、小豆の栄養素などにも触れ、「和菓子は心を変える」と、その魅力を伝えていました。



## ～ 第2学年 鏡学級 ～

算数科のかけ算の学習において、簡単な2位数と1位数のかけ算の仕方を考えました。子供たちは、九九をつくる過程で見いだしたかける数と積の関係や交換法則、分配法則等のきまりを活用しながら自分なりに計算の仕方を考え、図や式を使いながら、友達にわかりやすく説明することができました。



## ～ スマイル 後藤学級 ～

国語科の学習において、様子や行動、気持ちなどを表す語句の量を増やし、話しや文章の中で使うことを通して語彙を豊かにしていくことをねらいとして、詩を書く活動に挑戦しました。

自分の思いを綴る活動は単元の学習を終えても継続しており、その時々心の動きを言葉にし、豊かな表現が重ねられています。



## ～ 第1学年 門馬学級 ～

生活科の学習において、秋に見つけたどんぐりやまつぼっくりなどを使って遊びや遊びに使うものを作り、みんなで楽しめる遊びを考える活動を行いました。目的を友達と共有し、協働して取り組めるようになるための大切な学習です。子供たちは、遊びをとおして気付いたことを友達と話し合い、共通の目的を探っていました。

